

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	UBS Group (Japan)	本社所在地	東京都
業種	金融業、保険業	総従業員数	727名
事業概要	投資銀行・証券業務、富裕層向けウェルス・マネジメントおよび資産運用業務		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	フレキシブル・ワーク・アレンジメント (FWA)
テレワーク担当部署	人事部/マネジメントオフィス など
テレワーク対象者	全従業員/全職種
実施者数	727名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2020年3月のスプリットオペレーション時点ですでに大半の社員の在宅勤務が可能な状態であったことは非常に優位であったが、一部テクノロジー上の特別な対応が必要であった部門も、数か月で対応がなされ、2020年前半にはほぼ全社員が在宅勤務可能な状態になるよう、テクノロジー部門が対応をした。

テレワークの概要・特徴

- FLEXIBLE WORKING ARRANGEMENTS フレキシブル・ワーク・アレンジメント (FWA)規定を柔軟に運用することとし、個別承認の申請をせず適用した。
- FLEXIBLE WORKING ARRANGEMENTS フレキシブル・ワーク・アレンジメント (FWA)・短縮勤務・在宅勤務・Variable Working Hours・Non-Standard Working Hours

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 子供がいる社員は、保育園や小学校が閉鎖になってからは在宅勤務により仕事と育児を両立できるようになった。
- 会議は全てSkypeによるオンライン開催、外部との会議にはWebexを活用し物理的な制約をなくした。